

平成 25 年度上下流交流事業

平成の名古屋市民の森づくり 2013

【日 時】平成 25 年 5 月 11 日（土）10：40～15：00

【場 所】木曾町福島戸立町有林（午前）、木祖村及び木曾町日義（午後）

【内 容】以下のとおり

現在名古屋市において「名古屋城本丸御殿復元事業」が進められていますが、その材料には木曾ヒノキが使用されています。その木材を単に使用するだけでなく産地で植栽・育樹を行い、上流域の豊かな自然環境を将来に残そうと、平成 21 年度から木曾町町有林において名古屋市民による植樹活動が行われており、今回で 5 回目となります。

当日はあいにくの雨天となりましたが、下流域からは名古屋市民 120 名をはじめ名古屋市職員、上流域からは木曾広域連合ほか郡内関係者の合計約 180 名が、上下流交流の一環として植樹作業に参加しました。

開会式では名古屋市副市長及び木曾広域連合長のあいさつのあと、長野県林業士会のご協力でチェーンソー伐木を行いました。名古屋市民の皆さんは写真撮影をしながら見学され、木が倒れる瞬間驚きの歓声をあげていました。

開会式終了後は 12 の班に分かれ、植樹開始となりました。スケジュール的に遅れはありましたが予定通り作業を行い、約 0.5ha の区域に、ヒノキや広葉樹の苗木合計 625 本を植えました。

植樹作業終了後は、「一般コース」と「とことんコース」の 2 つに分かれて行動しました。

一般コースの方は、木祖村のこだまの森へ移動し昼食をとり、午後は味噌川ダムや資料館などを見学されました。

一方、とことんコースの方は、午後も引き続き作業を行う予定でしたが、雨天のため木曾町日義公民館へ移動し昼食をとり、木曾地方事務所林務課の方を講師として、レクレーションゲームを楽しみながら植樹・育樹の大切さについて学んでいただきました。

◎ 当日の様子



開会式典 1



開会式典 2

※この事業は、長野県の「地域発 元気づくり支援金」を活用して実施しました。



作業風景 1



地元の方の指導により植えていきます



親子一緒に



全部で 625 本



一般コース 1 (味噌川ダム)



一般コース 2 (お六櫛実演見学)



とことんコース 1 (育樹に関する講演)



とことんコース (育樹レクリエーションゲーム)

※この事業は、長野県の「地域発 元気づくり支援金」を活用して実施しました。